

標準塗装仕様

〔新設の場合〕

1. コンクリート、モルタルなどの平滑仕上げ

工 程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率 (%)	塗装回数	標準塗付量 (kg/m ² ・回)	塗り重ね可能時間 (20℃)
素地調整	エフロレッセンス、レイトランス、ゴミ、汚れなど付着物を完全に除去し、乾いた正常な面とする。(含水率10%以下、pH9.5以下)					
下塗り	033-5150 ユメロックシーラー 配合比(重量)主剤:硬化剤=5:1	(016-0059) 通常不要	ハケ、ローラー エアレス	1	0.11~0.13	4時間以上 7日以内
上塗り	114ライン ハイパーユメロック 配合比(重量)主剤:硬化剤=9:1	016-0059 塗料用シンナー	ハケ、ローラー: 5~15 エアレス :10~20	2	0.11~0.13	2時間以上 7日以内

2. コンクリート、モルタルなどの吹付けタイル模様仕上げ

工 程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率 (%)	塗装回数	標準塗付量 (kg/m ² ・回)	塗り重ね可能時間 (20℃)
素地調整	エフロレッセンス、レイトランス、ゴミ、汚れなど付着物を完全に除去し、乾いた正常な面とする。(含水率10%以下、pH9.5以下)					
下塗り	033-1159 ロックカチオンシーラーマルチ	(水) 通常不要	ハケ、ローラー エアレス	1	0.11~0.13	3時間以上
中塗り	032-2124 タイルコートE 中塗り	水	タイルガン : 1~3	1	1.5~2.0	16時間以上
(ローラー押さえ)	ローラー押さえする場合は、模様吹き後 30 分以内に、テフロンローラーなどに塗料用シンナーをつけながら軽く押さえる。					
上塗り	114ライン ハイパーユメロック 配合比(重量)主剤:硬化剤=9:1	016-0059 塗料用シンナー	ハケ、ローラー: 5~15 エアレス :10~20	2	0.11~0.13	2時間以上 7日以内

3. 鉄部、非鉄金属部の平滑仕上げ

工 程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率 (%)	塗装回数	標準膜厚 (μ)	標準塗付量 (kg/m ² ・回)	塗り重ね可能時間 (20℃)
素地調整	電動工具、手工具を併用し、黒皮、赤さび、白さびなどを念入りに除去する。日本道路協会素地調整「2種ケレン」、又は SIS St3 程度。じんあい、水分、油分は完全に除去する。						
下塗り	061-7500 番級 2液型サビカット 配合比(重量)主剤:硬化剤=5:1	016-0059 塗料用シンナー	ハケ、ローラー: 0~5 エアレス : 5~10	1	40	0.13~0.15	4時間以上 7日以内
上塗り	114ライン ハイパーユメロック 配合比(重量)主剤:硬化剤=9:1	016-0059 塗料用シンナー	ハケ、ローラー: 5~15 エアレス :10~20	2	30	0.11~0.13	2時間以上 7日以内

〔塗り替えの場合〕

4. コンクリート、モルタルなど下地模様を生かした塗り替え

工 程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率 (%)	塗装回数	標準塗付量 (kg/m ² ・回)	塗り重ね可能時間 (20℃)
下地調整	旧塗膜ではがれ部分、フクレ部分等は皮スキ、ワイヤーブラシ等のケレン具を用いて完全に除去する。またエフロレッセンス、チョーキング部分、汚れなどは高圧洗浄等で除去し、乾燥した清浄面とする。					
下塗り	033-5150 ユメロックシーラー 配合比(重量)主剤:硬化剤=5:1	(016-0059) 通常不要	ハケ、ローラー エアレス	1	0.11~0.13	4時間以上 7日以内
上塗り	114ライン ハイパーユメロック 配合比(重量)主剤:硬化剤=9:1	016-0059 塗料用シンナー	ハケ、ローラー: 5~15 エアレス :10~20	2	0.11~0.13	2時間以上 7日以内

注) 下塗りにはユメロックシーラーの他に、ロックカチオンシーラーマルチを使用することができます。

5. コンクリート、モルタルなど下地模様を生かした(可とう形改修塗材Eを使用)塗り替え

工 程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率 (%)	塗装回数	標準塗付量 (kg/m ² ・回)	塗り重ね可能時間 (20℃)
下地調整	旧塗膜ではがれ部分、フクレ部分等は皮スキ、ワイヤーブラシ等のケレン具を用いて完全に除去する。またエフロレッセンス、チョーキング部分、汚れなどは高圧洗浄等で除去し、乾燥した清浄面とする。					
下塗り	032-2106 ビニロックエラストックフィラーⅢ	水	ローラー : 2~5 砂骨ローラー : 0~2 リンガン、タイルガン : 5~10	1	0.5~1.5	8時間以上
上塗り	114ライン ハイパーユメロック 配合比(重量)主剤:硬化剤=9:1	016-0059 塗料用シンナー	ハケ、ローラー: 5~15 エアレス :10~20	2	0.11~0.13	2時間以上 7日以内

注) 下塗りには、032-2106 以外に 032-2105 ビニロックエラストックフィラーもあります。

6. 鉄部、非鉄金属部の塗り替え

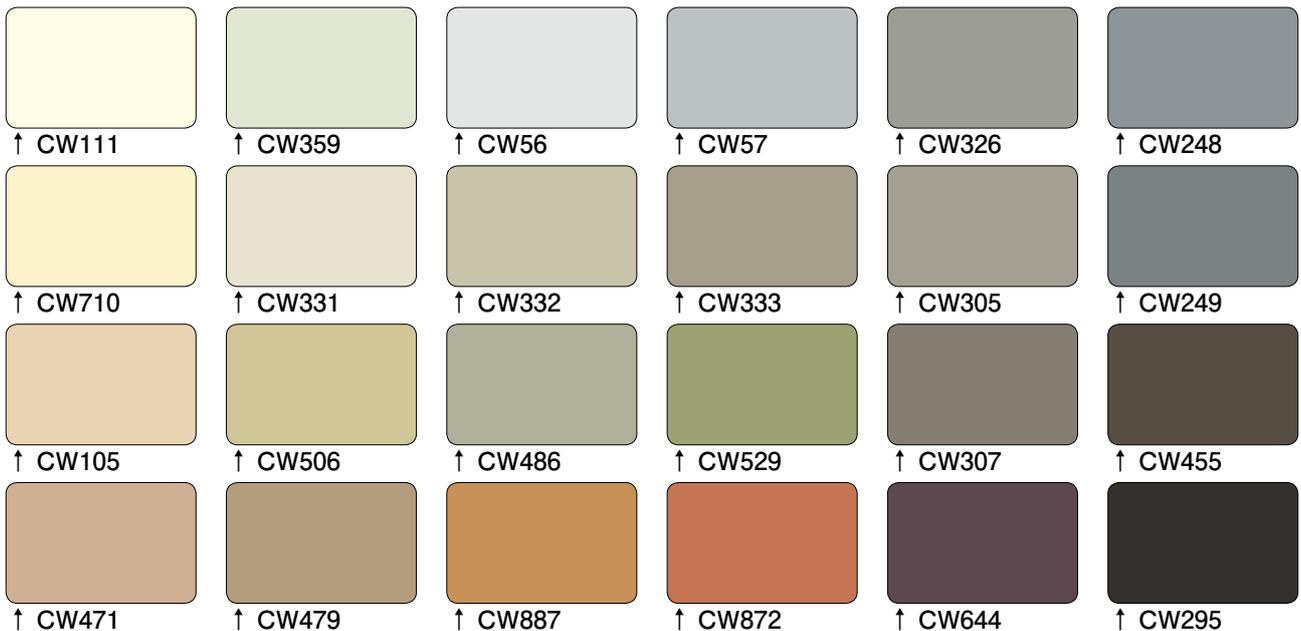
工 程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率 (%)	塗装回数	標準膜厚 (μ)	標準塗付量 (kg/m ² ・回)	塗り重ね可能時間 (20℃)
下地調整	旧塗膜ではがれ部分、フクレ部分等は皮スキ、ワイヤーブラシ等のケレン具で、浮き塗膜サビなどは、電動工具、手工具で除去する。「2種ケレン」チョーキングした面、汚れ等はサンドペーパー等で除去し、乾燥した清浄な面とする。						
下塗り	061-7500番級 2液型サビカット 配合比(重量)主剤:硬化剤=9:1	016-0059 塗料用シンナー	ハケ、ローラー: 0~5 エアレス : 5~10	1	40	0.13~0.15	4時間以上 7日以内
上塗り	114ライン ハイパーユメロック 配合比(重量)主剤:硬化剤=9:1	016-0059 塗料用シンナー	ハケ、ローラー: 5~15 エアレス : 10~20	2	30	0.11~0.13	2時間以上 7日以内

7. 硬質塩化ビニル、F.R.P.面の塗り替え

工 程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率 (%)	塗装回数	標準塗付量 (kg/m ² ・回)	塗り重ね可能時間 (20℃)
下地調整	ゴミ、汚れ、油分などはワイヤーブラシ等で完全に除去する。 塗装する前にサンドペーパー P240 ~ P400 で研磨による足付けを行う。					
下塗り	114ライン ハイパーユメロック 配合比(重量)主剤:硬化剤=9:1	016-0059 塗料用シンナー	ハケ、ローラー: 5~15 エアレス : 10~20	1	0.11~0.13	2時間以上 7日以内
上塗り	114ライン ハイパーユメロック 配合比(重量)主剤:硬化剤=9:1	016-0059 塗料用シンナー	ハケ、ローラー: 5~15 エアレス : 10~20	1	0.11~0.13	2時間以上 7日以内

※仕様書の数値は標準的な塗装を行う際のもので、素地の状態、気象条件、塗装方法などによって異なる場合があります。

外装仕上用提案色



※色番号はロックペイントが世界の建築物に使用されている色の中から実用性の高い1021色を選定したカラーワールド®1000色見本帳の番号です。上記24色は、日本の建物によく使われている色です。(色見本は印刷ですから実際の色とは多少異なります。)

種類と容量

品番	品名	原色	ホワイト:原色 90:10	入目	品番	品名	原色	ホワイト:原色 90:10	入目
114-5203	ホワイト	(白)	—	13.5kg	114-5225	オキサイドレッド			13.5kg
114-5021	ムエンエロー			13.5kg	114-5233	オーカー			13.5kg
114-5040	シンクレッド			13.5kg	114-5234	ブラック			13.5kg
114-5080	ロイヤルブルー			13.5kg	114-5150	クリヤー	—	—	13.5kg
114-5095	フラットベース	—	—	13.5kg	114-5140	硬化剤	—	—	1.5kg

(注) 色見本は印刷ですから実際の色とは多少異なります。

施工上の注意事項

- 塗る面のゴミ、かび、こけ、油分、枯れ葉などの汚れや、はがれかかった塗膜はよく取り除いてください。
(含水率 10%以下、pH9.5 以下)
- 塗装中および塗装後 24 時間は 5℃以下にならない場所で使用してください。また、湿度が 85%以上の場合には塗装を避けてください。
- たえず結露が発生するような場所、用途での使用は避けてください。
- 降雨、降雪、強風などの場合、または天候不良が予測されるときは外部の塗装はさけてください。
- 塗料液と硬化剤には、湿気と反応する成分が含まれています。貯蔵の際は密栓し、冷暗所に保存してください。また、開栓後はできるだけ早めにご使用ください。水・アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください。
- 鉄部の塗装には変性エポキシ樹脂系サビ止メ塗料（「2 液型サビカット」、「ロックエポキシ ハイプライマー (2 液型)」、「水性サビカット (2 液型)」または「サビカット (1 液型)」) または、合成樹脂系サビ止メペイント（「ロックコート サビ止メペイント」）を下塗りしてから塗装してください。垂鉛メッキ鋼板、トタン板の場合は変性エポキシ樹脂系サビ止メ塗料（「2 液型サビカット」または「ロックエポキシ ハイプライマー (2 液型)」を推奨）を下塗りに使用してください。
- 溶接接合部や下塗りにキズがある場合は、その部分が塗膜不良となりやすいので、素地調整後、補修塗装を行ってから塗装してください。
- ビニロックエラストックフィラーを砂骨ローラーで塗装する場合には、最初に配り塗りを行い、その後ならし塗りをし、塗り継ぎにムラが生じないように行ってください。
- 塗装方法により多少色相が異なることがありますので、入り隅のハケ、ローラー境目はできるだけ奥までローラー塗装してください。
- 吹付け塗装の場合は、飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- スプレーノズルの先端は、時々洗浄してください。作業能率の低下および塗りムラの原因になります。
- 補修部分が目立つことがありますので、補修塗りの場合は同一ロットの塗料を使用し、同一の塗装方法、希釈割合で行ってください。
- 033-0150 クリヤーシーラー溶剤型などを下塗り塗装後、ハイパーユメロックを塗装するとチヂミが発生する場合がありますので、適性シーラーにつきましては、最寄りの営業所にお問い合わせください。
- 塗色が濃い場合、塗膜を強くこすると色落ちすることがありますので注意してください。
- ドアパッキン、緩衝材など可塑性を含むプラスチック製品に塗膜が接触したり、直接塗装を行ったりすると軟化することがありますので、塗装は避けてください。
- 屋外セメント系素地に段差や素穴などがある場合は、セメントフィラーを用いて不陸調整を行ってください。また吸い込みの多い面などを塗る場合は、各種ロック建築用シーラーで適切なものを使用してあらかじめ下塗をしておいてください。
- 改修塗装の場合、素地の種類によって塗膜不良となる事があります。あらかじめ適切な処理を行い試し塗りすることをおすすめします。
- 高断熱型住居の外壁を塗装する場合、状況により素地の変形、塗膜にふくれ、はがれなどが発生する場合があります。詳しくは最寄りの営業所にお問い合わせください。
- シーリング材の上に塗装する場合、シーリング材の種類、劣化度により付着不良を起こしたり、表面が汚れてくる場合があります。状況によっては、シーリング材用プライマー「ロックノンタックプライマー」を塗装してください。塗膜の汚染・剥離・はがれ・割れの低減が図れます。
- 比較的緻密な素材である押し出し成型板や GRC 板へ塗装する場合は、適性の溶剤型変性エポキシシーラーを下塗りとして使用してください。
- 各工程の塗装間隔や塗付量、希釈量を守らなかった場合塗膜不良となることがあります。また、各工程において当社指定以外の材料を使用した場合は十分な性能が得られないことがあります。
- 低汚染性については、被塗物の種類や建物の形状により、また、施工後特に塗膜が十分に乾燥する前、もしくは乾燥して初期の段階で天候不良であった場合、その効果が十分に発揮されない場合があります。
- つやの調整品は、被塗物の形状、状態、塗装膜厚や塗色などにより、実際のつやと少し違って見える場合があります。あらかじめ試し塗りを実施し、確認してください。
- 塗装用具の洗浄にはラッカーシンナーを使用してください。
- 塗装作業中および乾燥中は換気を十分に行い、その後も塗膜が完全に乾くまでの間は、ときどき換気を行ってください。
- 硬化剤はイソシアネート化合物を含んでおり、スプレーダストを連続して吸引すると鼻、のど、気管支などに障害を起します。ので、換気を良くし、完全なマスクを着用して作業を行ってください。
- そのほかカタログに記載されていない素地（ALC 等の多孔質下地、軽量モルタル仕上げ面等）及び塗装方法、工程で施工する場合、塗膜欠陥を起こすことがありますので、使用する前に最寄りの営業所にお問い合わせください。
- このカタログに記載されている下塗塗料などの詳細な使用方法については、それぞれのカタログをご参照ください。
- 引火性の危険物および、健康に有害な有機溶剤などを含有していますので、製品容器の注意書きおよび製品安全データシート（MSDS）をよく読み、注意事項を厳守してください。